第 1 章

概 況

I 県南地域の概況

1 県南地域の特性

- 県南地域は、福島県の南部に位置し、首都圏と隣接する地理的優位性があります。 また、阿武隈川、久慈川などの源流を有し、美しく豊かな自然に恵まれるとともに、 古くから奥州の玄関口として知られる白河の関や日本最古の公園といわれる南湖公園な ど歴史的文化遺産が数多く残されています。
- 東北新幹線、東北自動車道、福島空港へのアクセスとなるあぶくま高原道路などの高速交通体系が発達し大都市圏との時間的距離が短いこと、また、本県の特性である地震等の災害に強い地盤であることなどにより、製造業を中心に企業が立地し、半導体関連産業、輸送用機器関連産業などの集積があります。
- 農業では、多様な自然条件を生かした野菜、花きなどの生産が盛んで、高速交通体系により首都圏を中心に各地へ出荷されています。また、県内でも有数のスギを中心とした林業地帯であり、良質な素材の供給が行われています。
- 年少人口比率及び生産年齢人口比率が他地域に比べて高く、将来の地域の発展に必要なポテンシャルを有しています。

[出典:県南地方振興局 管内概況(県南地域の概要)]



2 管内市町村の概況

(令和7年4月1日現在)

					年齢別	47 41 114/944 G	(%)
区分	面積 (K㎡)	世帯数(世帯)	人口 (人)	人口密度 (人/K㎡)	年少人口 0~14歳	生産年齢 人口 15~64歳	老年人口 65歳以上
県南地域計	1, 233. 08	53, 810	131, 697	106.8	11. 1	55. 2	33. 7
白河市	305. 32	24, 314	56, 004	183. 4	10.6	56. 4	32. 9
西白河郡	306. 81	18, 990	48, 388	157. 7	12. 2	56.6	31. 2
西郷村	192.06	8, 791	21, 134	110.0	13. 2	59. 3	27. 5
泉崎村	35. 43	2, 158	5, 878	165. 9	11. 3	53. 3	35. 5
中島村	18. 92	1, 583	4,602	243. 2	12. 2	53. 9	33. 9
矢吹町	60.40	6, 458	16, 774	277. 7	11. 2	55. 2	33. 5
東白川郡	620. 95	10, 506	27, 305	44. 0	10. 1	50.3	39. 6
棚倉町	159. 93	4, 722	12, 213	76. 4	10.7	54. 1	35. 2
矢祭町	118. 27	1,855	4,872	41. 2	10.3	45.6	44. 1
塙町	211. 41	2, 957	7, 586	35. 9	9. 5	48.5	42. 0
鮫川村	131. 34	972	2, 634	20. 1	8.3	46. 4	45. 3
福島県	13, 784. 41	750, 858	1, 726, 116	125.2	10.6	55.3	34.1

〔出典:全国都道府県市区町別村面積調、福島県の推計人口〕

(令和6年4月1日現在)

	HO 1/11 F	, , , , , , ,				左松口	ロー性中心	(0/)
区分		面積 (K㎡)	世帯数 (世帯)	人口 (人)	人口密度 (人/K㎡)	年齢別 年少人口 0~14歳	リ人口構成比 生産年齢 人口 15~64歳	(%) 老年人口 65歳以上
県南地	也域計	1, 233. 08	53, 182	133, 235	108. 1	11.4	55. 5	33. 1
白	河市	305. 32	24, 033	56, 711	185. 7	10.9	56. 7	32. 4
西	白河郡	306.81	18, 602	48, 558	158. 3	12. 5	56. 9	30.6
	西郷村	192.06	8, 506	20, 979	109. 2	13. 5	59. 7	26. 9
	泉崎村	35. 43	2, 132	5, 959	168. 2	11.8	53. 2	34. 9
	中島村	18. 92	1, 584	4, 666	246. 6	11. 9	54. 5	33. 6
	矢吹町	60.40	6, 380	16, 954	280. 7	11. 7	55. 4	32. 9
東	白川郡	620.95	10, 547	27, 966	45. 0	10.3	50. 7	38. 9
	棚倉町	159. 93	4, 741	12, 489	78. 1	11. 2	54. 3	34. 4
	矢祭町	118. 27	1,866	4, 986	42. 2	10.3	46.6	43. 1
	塙町	211. 41	2, 962	7, 754	36. 7	9.6	48.6	41.8
	鮫川村	131. 34	978	2, 737	20.8	8. 7	47.8	43. 5
福島県	Į.	13, 784. 39	748, 488	1, 750, 349	127.0	10.9	55.5	33. 7

〔出典:全国都道府県市区町別村面積調、福島県の推計人口〕

増減の状況 (R7-R6)

- 坦1	吹い	/ ₁ 人/元 (K / =	- KO)						
							年齢別		(%)
	区分		面積 (K㎡)	世帯数 (世帯)	人口 (人)	人口密度 (人/K㎡)	年少人口	生産年齢 人口	老年人口
			(IIII)	(四1117)		() () (1111)	0~14歳	15~64歳	65歳以上
県i	南地	划域計	0.00	628	-1,538	-1.2	-0.3	-0.3	0.6
	白	河市	0.00	281	-707	-2.3	-0.3	-0.3	0.6
	西	白河郡	0.00	388	-170	-0.6	-0.3	-0.2	0.5
		西郷村	0.00	285	155	0.8	-0.3	-0.3	0.6
		泉崎村	0.00	26	-81	-2.3	-0.6	0.0	0.5
		中島村	0.00	-1	-64	-3. 4	0.3	-0.5	0.3
		矢吹町	0.00	78	-180	-3.0	-0.4	-0.2	0.6
	東	白川郡	0.00	-41	-661	-1. 1	-0.3	-0.4	0.7
		棚倉町	0.00	-19	-276	-1. 7	-0.5	-0.2	0.7
		矢祭町	0.00	-11	-114	-1.0	0.0	-1.0	0.9
		塙町	0.00	-5	-168	-0.8	-0. 1	-0. 1	0.2
		鮫川村	0.00	-6	-103	-0.8	-0.4	-1.4	1.8
福	島県	÷	0.02	2, 370	-24, 233	-1.8	-0.2	-0.2	0.4

Ⅱ 県南保健福祉事務所の概況

1 沿革

県では、保健と福祉の連携を強化し、より良い行政サービスを提供するため、平成14年4月1日に、従来の保健所と社会福祉事務所を統合し、県南保健福祉事務所として再編しました。現在、県南保健福祉事務所は、3部6課7チームと東白川福祉相談コーナーで組織されており、さらに、児童相談体制の充実・強化を図るため、県中児童相談所の白河相談室が事務所内に設置されております。なお、保健福祉事務所は、地域保健法による保健所を兼ねています。

○県南保健福祉事務所

- 平成14年 4月 社会福祉事務所と保健所の組織統合により、3部7グループで構成する県南 保健福祉事務所となりました。
- 平成15年 4月 旧県南保健所庁舎の改修完了に伴い、現在の同一庁舎内組織における執行体制となりました。
- 平成16年 4月 衛生検査体制の再編により、衛生推進グループ検査チームの業務が衛生研究 所県中支所に移管されました。
- 平成18年4月 家庭児童相談室は、中央児童相談所白河相談室に統合されました。
- 平成19年4月 中央児童相談所白河相談室は、県中児童相談所白河相談室となりました。
- 平成20年 4月 機構改革により、グループ制を廃止し、課・チーム制が導入されました。 県南保健所棚倉支所は、本所と統合されました。
- 平成23年 6月 行政運営体制の再編により、総務課と地域支援課が統合し、総務企画課となりました。
- 平成29年 4月 組織改正により、福島県動物愛護センターが田村郡三春町に設置されたこと に伴い、当所で実施していた動物愛護管理業務が移管されました。

○統合前の県南社会福祉事務所の沿革

- 昭和26年10月 東白川福祉事務所が東白川郡4町村を福祉地区として、また、西白河福祉事務所が西白河郡7町村を福祉地区として設置されました。
- 昭和44年 4月 行政機構改革に伴い従来の福祉地区が統合され、白河社会福祉事務所が設置 されるとともに、出張所として東白川福祉事務所が置かれました。
- 昭和48年 4月 機構改革により、東白川福祉事務所の生活保護現業員が白河社会福祉事務所 に配置替えされ、東白川福祉事務所は福祉相談を主たる業務とする事務所と なりました。
- 平成 6年 4月 機構改革により、事務所の名称が白河社会福祉事務所から県南社会福祉事務 所に変更されました。また、東白川福祉事務所は廃止され、東白川福祉相談 コーナーとなりました。

○統合前の県南保健所の沿革

(旧白河保健所)

- 昭和19年10月 白河市新蔵に元逓信省簡易保険相談所の施設の譲渡を受け、西白河郡一円を 所管区域として白河保健所が設置されました。
- 昭和30年8月 白河市字郭内127番地に新築移転しました。
- 昭和53年7月 庁舎改築着工に伴い、白河市中町郵便局舎に仮移転しました。
- 昭和54年7月 RC造3階建て庁舎が落成し、仮移転が解消されました。
- 平成 9年 3月 地域保健法の施行に伴う保健所の再編により棚倉保健所と統合されました。

(旧棚倉保健所)

- 昭和20年 1月 棚倉町大字棚倉字北町甲146番地に東白川郡及び石川郡一円を所轄地区として棚倉保健所が設置されました。
- 昭和23年 5月 石川保健所の設置に伴い、所管区域が東白川郡棚倉町外10町村となりました。
- 昭和29年3月棚倉町北町甲149番地に新築移転しました。

昭和58年3月 棚倉町棚倉字城跡34番地1にRC造2階建て庁舎を新築、移転しました。

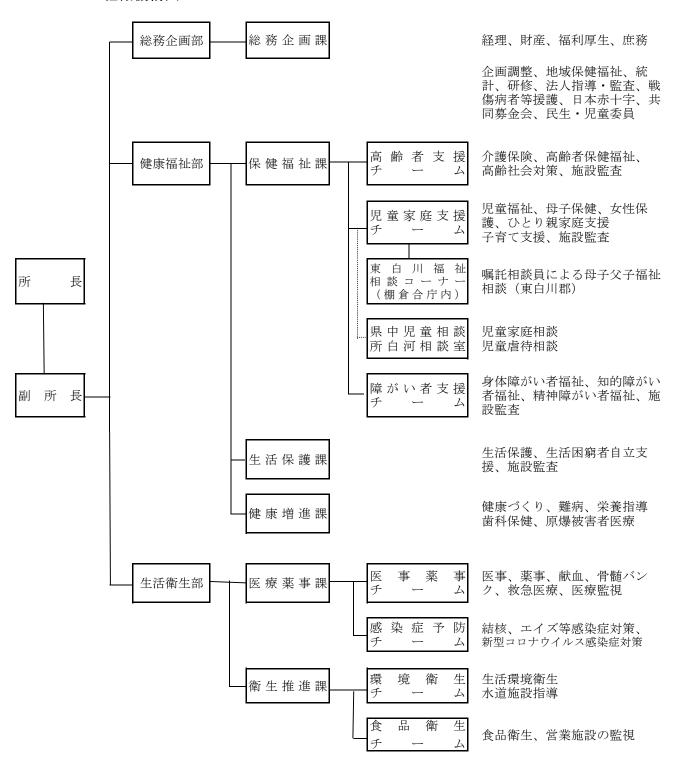
平成 9年 4月 地域保健法の施行に伴う保健所の再編により白河保健所と統合され県南保健 所棚倉支所が設置されました。

平成20年 4月 機構改革により県南保健所棚倉支所が廃止されました。

(県南保健所)

平成 9年 4月 地域保健法施行に伴う保健所の再編統合により、白河・棚倉両保健所が統合され、白河市字郭内127番地に新たに県南保健所が設置されました。

2 組織機構図 (令和7年4月1日現在)



職員の配置状況 (令和7年4月1日) 3 事 専 技 技術吏員 嘱 託 職種別 医 獣 薬 線診 保 技 務 栄 運 科 門 員談 能 計 技族 ・員 吏 養 衛 健 転 医 剤 組織別 生 員 士: 援協 員 員 師 師 師 師射 師 師 手 所 長 副所長 (兼総務企画部長) 部長(副所長と兼務) 総 務 課 長 企 務 キ 6 企 t ツ 画 1 画 部 課 員 3 1 1 課 長 健 1 (兼県中児童相談所白河相談室長) 副部長 (兼健康増進課長) 課 長 高支 丰 t 康 健 齢援 チ 員 1 者T Δ 1 児家支 福 丰 1 14 t ツ 2 A 員 3 3 童庭T 祉 障い支 福 t ッソ 援 A 員 2 1 が者T 1 生 課 長 1 活 保 丰 t ツ ブ 10 1 祉 護 課 員 課 課 長 健 (健康福祉部副部長と兼務) 康 プ 丰 増 進 課 員 2 3 3 部 課 生 部 長 副 部 長 課 長 1 活 医 医薬 丰 t 1 療 事 薬 員 6 Δ 1 事 T 事 感予 t ツ 課 衛 染防 症 T Δ 員 2 課 長 衛 環衛 丰 ヤ 生 生 生 推 2 Δ 員 8 境T 進 食衛 丰 ヤ ツ 1 課 品 T チ A 員 3 部 計 所 22 本 0 0 3 13 11 0 56 11 東白川福祉相談コーナー※ 1 白相県 長 (1)(1)河 相談 中 児 (4) 室 員 (2)(2)室所童 計 (3)(2)(5)

※東白川福祉相談コーナーには、県南保健福祉事務所の母子・父子自立支援員1人が配置されています。()内の数字は、県南保健福祉事務所の兼務職員数を表示しています。

0

3

(2)

13

11

(5)

0

1

56

12

4

0

(3)

22

計

合

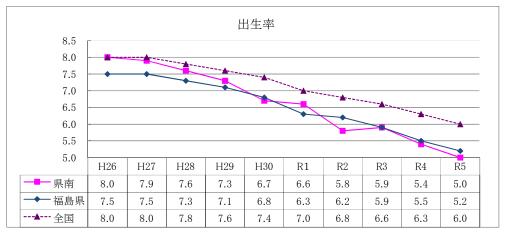
Ⅲ 人口動態

1 人口動態の推移

(1) 出生

令和5年の出生率(人口千対)は、5.0と前年より0.4下回っており、県平均5.2、全国平均6.0より下回っています。

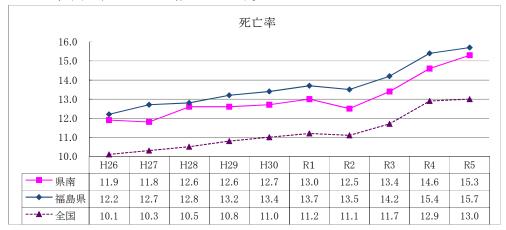
平成26年以降の年次推移をみると減少傾向が続いており、平成26年では8.0でしたが、令和5年は5.0と3.0減少しています。



(2) 死亡

令和5年の死亡率(人口千対)は、15.3と前年より0.7上回っています。県平均15.7より下回り、全国平均13.0より上回っています。

平成26年以降の年次推移をみると全体的に増加傾向にあり、県南地域では平成26年では11.9でしたが、令和5年は15.3と3.4増加しています。



(3) 自然増減

令和5年の自然増減率(人口千対)は、 \triangle 10.3で前年より1.1下回り、県平均-10.6より上回り、全国平均-7.0より下回っています。

全体的に減少傾向にあり、県南地域では平成17年以降、福島県では平成15年以降、国では平成19年以降減少傾向が続いています。



(4) 乳児死亡

令和5年の乳児死亡率 (出生千対) は、1.5で前年より0.1上回り、県平均2.3、全国平均1.8より下回っています。



(5) 新生児死亡

令和5年の新生児死亡率(出生千対)は、1.5で前年より1.5上回り、県平均1.1、全国平均0.8より上回っています。



(6) 死産

令和5年の死産率 (出産千対) は、35.9で前年より18.4上回り、県平均21.4、全国平均20.9より上回っています。



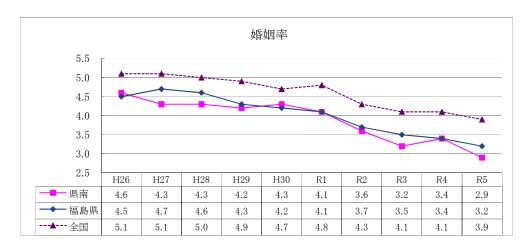
(7) 周産期死亡

令和5年の周産期死亡率(出産千対)は、5.9で前年より4.5上回り、県平均3.5、全国平均3.3より上回っています。



(8) 婚姻

令和5年の婚姻率(人口千対)は、2.9で前年より0.5下回っており、県平均3.2、全国平均3.9下回っています。



(9) 離婚

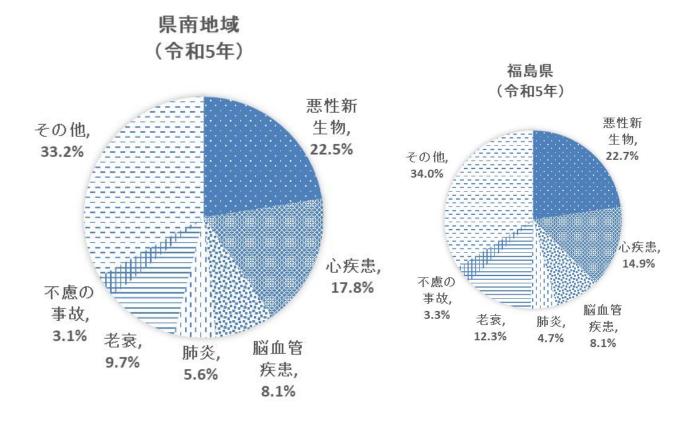
令和5年の離婚率(人口千対)は、1.59で前年より0.13上回り、県平均1.46、全国平均1.52より上回っています。



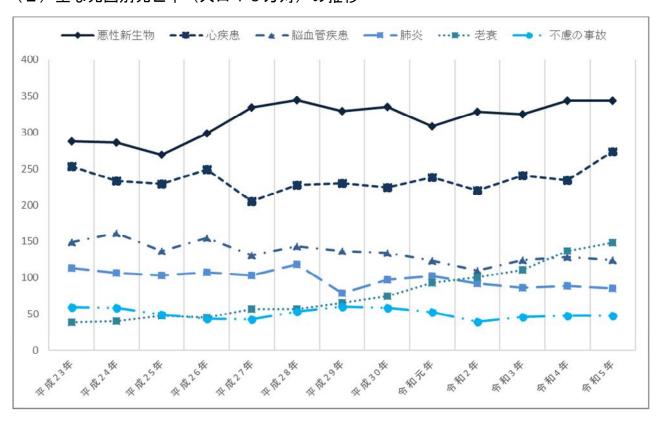
<参考資料:平成26年~令和5年人口動態統計(確定数)の概況(福島県)>

2 県南地域の死因の推移

(1) 主な死因別死亡数の割合



(2) 主な死因別死亡率(人口10万対)の推移



(参考資料:平成23年~令和5年人口動態統計(確定数)の概況(福島県))

3 死亡数(選択死因・市町村別):男性 (平成30年~令和4年)

(単位:人)

市	町村	死因	総死亡	結核	悪 性新生物	糖尿病	高血圧 性疾患	心疾患 (高血圧症を 除く)	脳血管 疾 患	肺炎	慢性閉 塞性肺 疾患	喘息	肝疾患	腎不全	老衰	不慮の 事 故	自殺
県	南地	域	4, 607		1, 369	63	19	744	410	359	89	4	73	75	177	201	108
白	河	市	1, 785		563	24	2	303	170	114	39	2	34	22	65	85	36
西	郷	村	599	:	2 154	11	3	85	63	32	12	2	8	9	23	21	15
泉	崎	村	190		59	1	0	36	19	10	4	0	5	3	7	6	3
中	島	村	168		51	3	1	22	16	15	1	0	2	1	4	5	6
矢	吹	町	612		183	6	3	117	41	47	16	0	7	9	22	23	20
棚	倉	町	505	(153	3	4	70	43	49	4	0	7	10	18	22	18
矢	祭	町	251	(67	5	0	38	15	36	2	0	3	9	19	13	3
塙		町	353	:	94	8	5	47	30	44	7	0	5	10	11	22	6
鮫	JII	村	144	() 45	2	1	26	13	12	4	0	2	2	8	4	1

(出典:保健統計の概況(令和5年版)福島県保健福祉部)

3 死亡数(選択死因・市町村別):女性 (平成30年~令和4年)

(単位:人)

												(牛	位:人)				
市	町村	死因	総死亡	結核	悪 性新生物	糖尿病	高血圧 性疾患	心疾患 (高血圧症を 除く)	脳血管 疾 患	肺炎	慢性閉 塞性肺 疾患	喘息	肝疾患	腎不全	老衰	不慮の 事 故	自殺
県	南地	域	4, 547	2	898	44	36	855	458	287	14	2	32	79	534	140	32
白	河	市	1, 725]	375	16	13	329	177	87	6	0	20	37	212	62	12
西	郷	村	618	(95	4	5	118	73	28	0	1	3	6	54	19	4
泉	崎	村	225	(52	3	2	34	20	g	1	0	0	3	35	4	1
中	島	村	180	(30	4	0	34	21	10	0	0	2	4	22	9	2
矢	吹	町	526	1	. 104	5	3	94	51	42	5	0	2	10	57	12	3
棚	倉	町	510	(103	7	11	90	58	34	1	1	1	3	42	11	2
矢	祭	町	296	(50	1	0	66	19	25	0	0	3	6	48	10	4
塙		町	306	(56	3	1	60	27	37	0	0	1	6	38	8	3
鮫	JII	村	161	(33	1	1	30	12	15	1	0	0	4	26	5	1

(出典:保健統計の概況(令和5年版)福島県保健福祉部)

4 市町村死因別標準化死亡比(SMR): 男性 (平成30年~令和4年)

- (1)標準化死亡比は、性、地域ごとに「期待死亡数」(その地域の死亡率が全国の死亡率と同じとしたときの死亡数)に対する「実際の死亡数」の 比を100倍したものであり、年齢構成の違いの影響を除いたものとして死亡状況の比較に用いている。 標準化死亡比が100より大きい場合、その地域の死亡率は全国より高いと判断され、100より小さい場合、全国より低いと判断される。
- (2) 令和2年を中心とした平成30年~令和4年のデータを基に、死亡に関する指標である標準化死亡比について市町村別に取りまとめている。

死因市町村		死因	総死亡	悪 性 新生物	心疾患 (高血圧症を除く)	脳血管 疾 患	肺炎	肝疾患	腎不全	老衰	不慮の 事 故	自殺
福	島	県	106. 2	103. 7	110.8	121. 5	100.6	97. 5	101.8	111. 3	128.8	122.8
県	南 地	域	104. 4	102. 7	118.5	126. 5	123. 2	101.7	87. 3	77. 0	143. 3	135. 7
白	河	市	99. 3	102. 1	116. 9	119. 1	97. 7	106. 6	72. 5	75. 7	142. 9	110.0
西	郷	村	112.8	99. 5	114. 9	160.6	103. 1	91.5	97. 0	103. 6	127. 1	124. 5
泉	崎	村	98.8	99.8	113. 5	118. 5	88. 3	102. 0	92. 9	88. 0	118. 4	112.6
中	島	村	105.8	102. 5	106. 5	129. 0	116. 3	92. 9	87. 4	86. 0	121.9	142.6
矢	吹	町	111. 0	104. 8	136. 1	113. 7	124. 8	90. 3	93. 5	93. 3	131. 1	162. 6
棚	倉	町	109. 4	105. 3	109.7	129. 2	139. 8	95. 9	103. 0	87. 6	138. 5	171.8
矢	祭	町	104. 7	100. 4	109.7	109. 5	154. 1	93. 7	118. 5	116. 2	139. 4	115. 7
塙		町	99. 0	97. 6	98.8	108. 9	139. 1	94. 9	108. 3	71. 3	149. 5	122.5
鮫	Ш	村	100.8	101.5	111.5	122. 4	102. 9	94. 5	91.9	97. 0	119. 1	111.1

(出典 : 厚生労働省 人口動態保健所・市区町村別統計 標準化死亡比(ベイズ推定値), 主要死因・性・都道府県・保健所・市区町村別(平成 30 年~令和 4 年))

4 市町村死因別標準化死亡比(SMR):女性 (平成30年~令和4年)

- (1)標準化死亡比は、性、地域ごとに「期待死亡数」(その地域の死亡率が全国の死亡率と同じとしたときの死亡数)に対する「実際の死亡数」の 比を100倍したものであり、年齢構成の違いの影響を除いたものとして死亡状況の比較に用いている。 標準化死亡比が100より大きい場合、その地域の死亡率は全国より高いと判断され、100より小さい場合、全国より低いと判断される。
- (2) 令和2年を中心とした平成30年~令和4年のデータを基に、死亡に関する指標である標準化死亡比について市町村別に取りまとめている。

死因 市町村		E因	総死亡	悪 性 新生物	心疾患 (高血圧症を除く)	脳血管 疾 患	肺炎	肝疾患	腎不全	老衰	不慮の 事 故	自殺
福	島	県	107. 6	100.8	110.9	129. 3	96. 5	106. 9	97. 7	107. 1	125. 4	98. 5
県	南 地	域	104. 5	95. 1	119.6	133. 6	121.8	89.7	92. 4	82. 0	131.0	93. 1
白	河	市	99. 6	96.6	115. 1	128. 9	94. 4	124. 2	102. 2	84. 0	137. 7	84.6
西	郷	村	124. 1	93.6	142. 5	172. 4	111.9	89.7	87. 7	95. 1	138. 2	88. 4
泉	崎	村	107.8	102. 1	106. 5	126. 6	89. 9	81.1	91.8	110. 0	114. 6	88.7
中	島	村	104. 7	95. 6	112. 2	136. 1	99. 2	112. 2	97. 0	90. 7	138. 1	109. 0
矢	吹	町	100. 1	93. 7	107. 4	122. 8	129. 6	77.8	94. 3	78. 2	110.3	83. 9
棚	倉	町	105. 5	99. 9	111.2	142. 5	117. 4	73. 7	77. 0	65. 7	112.8	81. 2
矢	祭	町	107. 3	97.6	125.8	109. 7	130.8	116. 7	97. 0	105. 3	130. 7	137. 4
塙		町	93. 2	91. 2	102. 6	109. 1	147. 0	82. 0	91. 4	75. 9	113. 2	109.0
鮫	Ш	村	110.8	101. 1	117. 9	123. 7	134. 1	88.8	99. 9	116. 2	127. 2	100. 4

(出典 : 厚生労働省 人口動態保健所・市区町村別統計 標準化死亡比(ベイズ推定値), 主要死因・性・都道府県・保健所・市区町村別(平成 30 年~令和4年))

5 病類別生活習慣病死亡数及び死亡率(人口10万対)県南・県・国比較

			令和	元年					令和	2年					令和	3年			令和4年					
		死亡数			死亡率			死亡数			死亡率			死亡数			死亡率			死亡数		死亡率		
	県南	県	国	県南	県	国	県南	県	围	県南	県	国	県南	県	国	県南	県	国	県南	県	国	県南	県	国
合 計	956	12, 943	714, 086	688. 1	701.8	577. 1	936	12, 745	710, 864	674. 5	695. 3	576. 1	979	13, 039	725, 389	713. 3	719. 6	590. 8	1, 002	13, 450	753, 834	738. 1	751. 2	617. 7
脳血管疾患	171	2, 233	106, 552	123. 1	121. 1	86. 1	152	2, 164	102, 978	109. 5	118.0	83. 5	170	2, 178	104, 595	123. 9	120. 2	85. 2	174	2, 312	107, 481	128. 2	129. 1	88. 1
(脳内出血)	41	584	32, 776	29. 5	31. 7	26. 5	48	599	31, 997	34. 6	32. 7	25. 9	43	578	32, 208	31. 3	31. 9	26. 2	47	625	33, 483	34. 6	34. 9	27. 4
(脳梗塞)	113	1, 375	59, 267	81. 3	74. 6	47. 9	86	1, 273	56, 864	62. 0	69. 4	46. 1	112	1, 343	58, 489	81. 6	74. 1	47. 6	109	1, 372	59, 363	80. 3	76. 6	48.6
(その他)	17	274	14, 509	12. 2	14. 9	11. 7	18	292	14, 117	13. 0	15. 9	11. 4	15	257	13, 898	10. 9	14. 2	11. 3	18	315	14, 635	13. 3	17. 6	12. 0
悪性新生物	429	6, 233	376, 425	308. 8	338. 0	304. 2	456	6, 259	378, 385	328. 6	341. 4	306. 6	446	6, 367	381, 505	325. 0	351. 4	310. 7	466	6, 481	385, 797	343. 3	362. 0	316. 1
(食道)	19	184	11, 619	13. 7	10.0	9. 4	16	182	10, 981	11.5	9. 9	8.9	12	152	10, 958	8. 7	8.4	8.9	9	170	10, 918	6.6	9. 5	8. 9
(胃)	77	779	42, 931	55. 4	42. 2	34. 7	60	737	42, 319	43. 2	40. 2	34. 3	56	726	41, 624	40.8	40. 1	33. 9	51	731	40, 711	37. 6	40.8	33. 4
(結腸)	40	628	35, 599	28. 8	34. 1	28. 8	40	641	36, 204	28. 8	35. 0	29. 3	49	629	36, 773	35. 7	34. 7	30. 0	50	641	37, 236	36. 8	35. 8	30. 5
(直腸及びS字結腸)	22	287	15, 821	15. 8	15. 6	12.8	22	300	15, 584	15. 9	16. 4	12. 6	24	300	15, 645	17. 5	16. 6	12. 7	29	305	15, 852	21. 4	17. 0	13. 0
(肝臓)	23	385	25, 264	16. 6	20. 9	20. 4	32	377	24, 839	23. 1	20. 6	20. 1	22	358	24, 102	16. 0	19.8	19. 6	23	364	23, 620	16. 9	20. 3	19. 4
(胆のう)	24	339	17, 924	17. 3	18. 4	14. 5	22	375	17, 773	15. 9	20. 5	14. 4	23	366	18, 172	16.8	20. 2	14.8	28	347	17, 756	20.6	19. 4	14. 6
(膵臓)	40	529	36, 356	28. 8	28. 7	29. 4	47	580	37, 677	33. 9	31. 6	30. 5	46	640	38, 579	33. 5	35. 3	31. 4	49	656	39, 468	36. 1	36. 6	32. 3
(気管・気管支・肺)	75	1, 212	75, 394	54. 0	65. 7	60. 9	90	1, 178	75, 585	64. 9	64. 3	61. 3	82	1, 235	76, 212	59. 7	68. 2	62. 1	82	1, 207	76, 663	60. 4	67. 4	62. 8
(乳房)	11	215	14, 935	7. 9	11. 7	12. 1	10	213	14, 779	7. 2	11. 6	12.0	17	221	14, 908	12. 4	12. 2	12. 1	12	228	16, 021	8.8	12. 7	13. 1
(子宮)	6	119	6, 804	8.6	12.8	10.7	4	82	6, 808	5.8	8.8	10.7	5	102	6, 818	7.3	11. 1	10.8	15	127	7, 157	22. 1	14. 0	11. 4
(白血病)	10	144	8, 839	7. 2	7.8	7. 1	13	149	8, 983	9. 4	8. 1	7. 3	10	139	9, 124	7.3	7. 7	7. 4	11	153	9, 759	8. 1	8. 5	8. 0
(その他)	82	1, 412	84, 939	59. 0	76. 6	68. 6	100	1, 445	86, 853	72. 1	78. 8	70. 4	100	1, 499	88, 590	72. 9	82.7	72. 2	107	1, 552	90, 636	78.8	86. 7	74. 3
心 疾 患	331	4, 000	207, 714	238. 3	216. 9	167. 9	305	3, 839	205, 596	219. 8	209. 4	166. 6	331	4, 060	214, 710	241. 2	224. 1	174. 9	318	4, 110	232, 964	234. 3	229. 6	190. 9
(急性心筋梗塞)	85	837	31, 527	61. 2	45. 4	25. 5	82	760	30, 538	59. 1	41. 5	24. 7	68	709	30, 578	49. 5	39. 1	24. 9	83	699	32, 026	61. 1	39. 0	26. 2
(心不全)	123	1,530	85, 565	88. 5	83. 0	69. 2	112	1, 479	84, 085	80. 7	80. 7	68. 1	140	1, 639	89, 950	102.0	90. 4	73. 3	110	1,615	98, 671	81.0	90. 2	80. 9
(その他)	123	1,633	90, 622	88. 5	88. 5	73. 2	111	1,600	90, 973	80. 0	87. 3	73. 7	123	1,712	94, 182	89. 6	94. 5	76. 7	125	1, 796	102, 267	92. 1	100. 3	83. 8
高血圧疾患	8	191	9, 549	5.8	10. 4	7, 7	4	174	10, 003	2. 9	9. 5	8. 1	10	177	10, 223	7.3	9.8	8.3	22	214	11, 665	16. 2	12. 0	9. 6
糖尿病	17	286	13, 846	12. 2	15. 5	11. 2	19	309	13, 902	13. 7	16. 9	11. 3	22	257	14, 356	16.0	14. 2	11.7	22	333	15, 927	16. 2	18. 6	13. 1

※悪性新生物(子宮)の死亡率については、女性人口10万に対する率である。

(出典:保健統計の概況(令和2年版~令和5年版)福島県保健福祉部、令和元年~令和4年人口動態統計(確定数)の概況 厚生労働省)